

学校用シンセサイザー SDX4000 組立説明書

はじめに

このたびは、学校用シンセサイザー ヤマハSDX4000をお求めいただきまして、ありがとうございます。

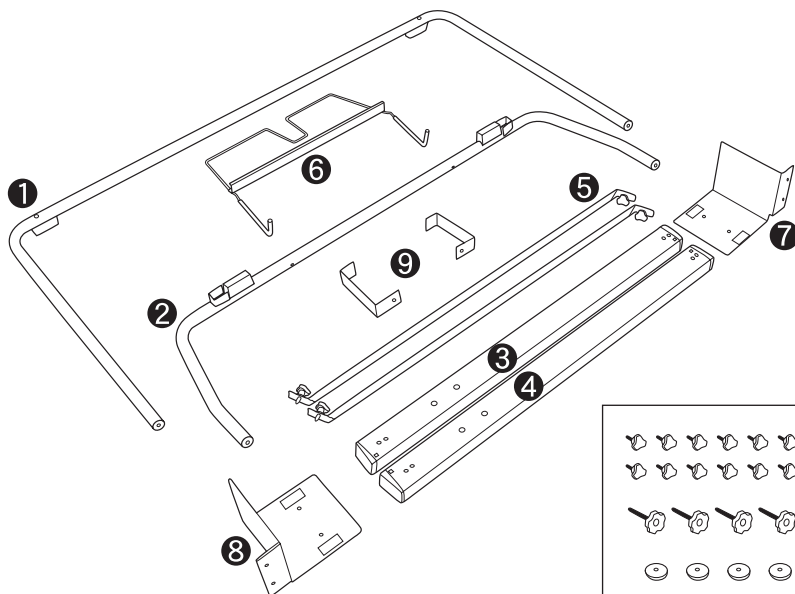
SDX4000は以下の商品からなるオールインワンパッケージです。

- ・ MO6S(シンセサイザー)..... 1台
- ・ MS101ⅢS(スピーカー)..... 2台
- ・ SLG4000(スタンド)..... 1台



安全上のご注意

- ❗ 組み立て作業は、必ず2人以上で行なってください。
- ❗ 手を挟んだり、シンセサイザーやスピーカーを落としたりしないよう、ご注意ください。
- ⊘ 傾斜地や不安定な場所に設置しない。
スタンドが転倒してシンセサイザーやスピーカーが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- ⊘ 指定のシンセサイザーやスピーカー以外の目的に使用しない。
指定のシンセサイザーやスピーカー以外のものは取り付けられません。また、指定のシンセサイザーやスピーカー以外のものをのせたり、スタンドにのったり、スタンドにもたれ掛かると、のせているものが落ちたり、スタンドが転倒して危険です。
- ⊘ スタンドの上のシンセサイザーに必要以上の力を加えない。
スタンドが転倒したりして危険です。
- ❗ 使用前に安全点検をする。
使用する前に、ノブボルトが確実にしまっているか、必ず確認してください。ノブボルトがゆるんでいると、スタンドが転倒してシンセサイザーやスピーカーが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- ❗ 移動する場合にはスタンドとシンセサイザーを分離する。
移動する前に、スタンドとシンセサイザーを分離し、ケーブル類は面ファスナーを使って固定してください。分離やケーブル類を固定しないと、転倒してSDX4000が故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



SLG4000パーツリスト

- | | |
|-------------|---|
| ① 下枠 | 1 |
| ② 上枠 | 1 |
| ③ 前脚(右) | 1 |
| ④ 前脚(左) | 1 |
| ⑤ ステイ | 2 |
| ⑥ 譜面台 | 1 |
| ⑦ スピーカー台(右) | 1 |
| ⑧ スピーカー台(左) | 1 |
| ⑨ MO6S固定金具 | 2 |

	ノブボルト(小)	12
	ノブボルト(大)	4
	ボルト受け	4
	面ファスナー	4

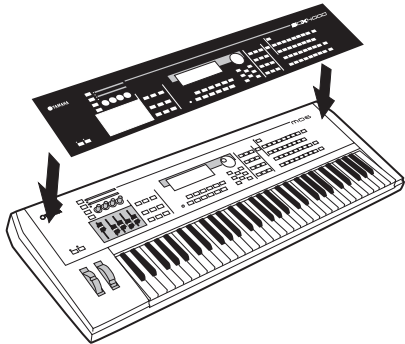
※ MO6SならびにMS101ⅢSのパーツリストについてはそれぞれの取扱説明書をご参照ください。

1. すべての部品がそろっていることを確認します。

パーツリストをご参照ください。

2. MO6Sに和文シートを貼ります。

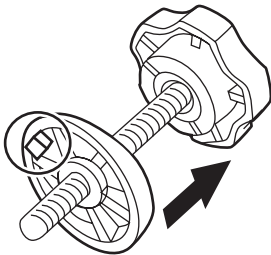
和文シートの裏側10カ所のセパレーターを取って、接着面を出したあと、MO6Sのパネルに貼り付けてください。



NOTE 接着剤は複数回の貼り剥がしが可能です。

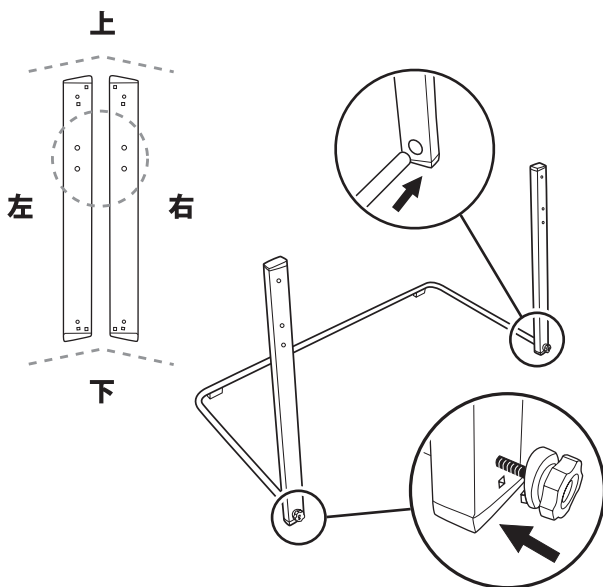
3. ノブボルト(大)にボルト受けを通します。

4つのノブボルト(大)それぞれにボルト受けを通します。ネジを差し込む方向にボルト受けの突起がくるように通してください。



4. 下枠と前脚を取り付けます。

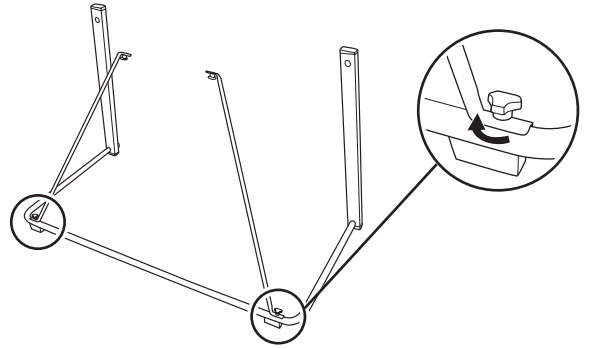
前脚の上下左右に注意して、下枠を前脚に差し込み、ノブボルト(大)を左右均等に少しずつ仮留めしてください。このとき、ボルト受けの突起と前脚の四角い穴が合うようにしてください。



! すべてのネジはまっすぐ入るように注意してください。

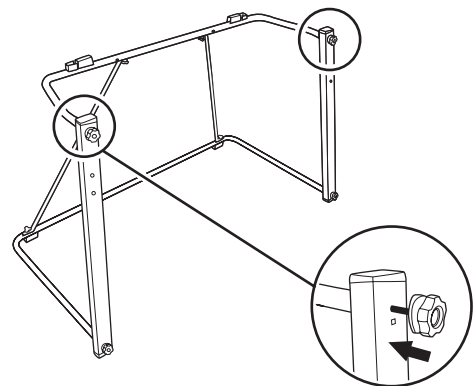
5. 下枠とステイを取り付けます。

2本のステイをネジで仮留めしてください。ステイにはあらかじめネジがついています。



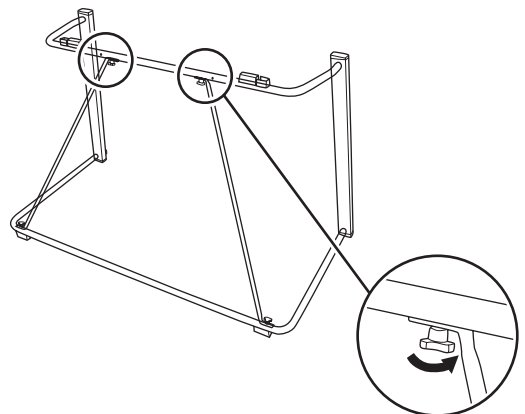
6. 上枠と前脚を取り付けます。

上枠を前脚に差し込み、ノブボルト(大)を左右均等に少しずつ仮留めしてください。このとき、ボルト受けの突起と前脚の四角い穴が合うようにしてください。また、ステイが曲がったりしないように注意してください。



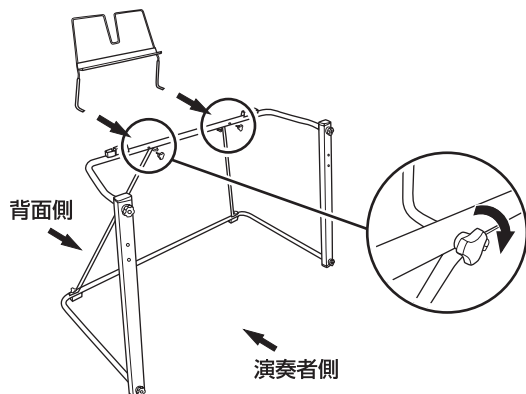
7. 上枠とステイを取り付けます。

ステイを上枠のネジ穴に合わせ、ネジで仮留めしてください。



8. 上枠と譜面台を取り付けます。

上枠中央部背面側に譜面台を差し込み、演奏者側からノブボルト(小)2つで仮留めしてください。

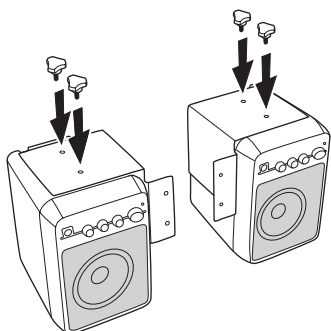


9. 仮留めしたネジをきつく締めます。

手順4から8までで仮留めしたネジを、均等に少しずつ、きつく締めて固定してください。

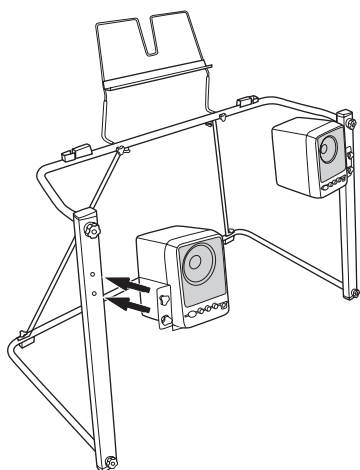
10. スピーカー台にスピーカーを取り付けます(2台分)。

スピーカー底面についているゴム脚をはがし、スピーカー台の大きな面に開いているネジ穴とスピーカー底面のネジ穴を合わせ、ノブボルト(小)2つで固定してください。



11. スピーカーを前脚に取り付けます(2台分)。

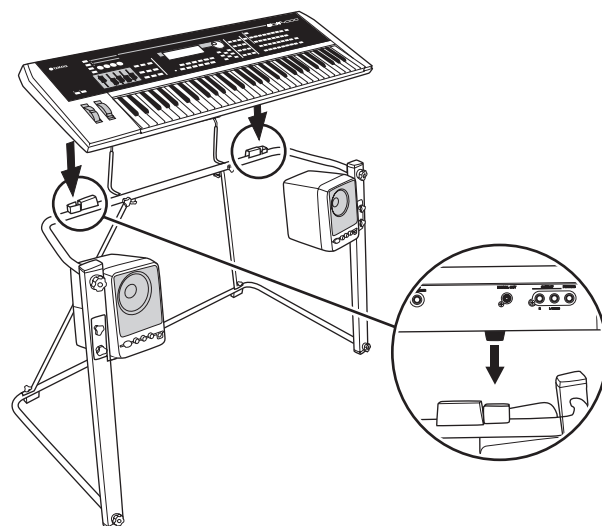
スピーカーが前脚の内側、スピーカー面が演奏者側に来るように前脚上部のネジ穴とスピーカー台のネジ穴を合わせ、ノブボルト(小)2つで固定してください。(スピーカー台には左右がありますので間違えないようにしてください。)



! スピーカーを落とさないようにご注意ください。

12. MO6Sをスタンドに取り付けます。

MO6Sを上枠にあるゴム脚固定穴に合わせてスタンドに載せてください。

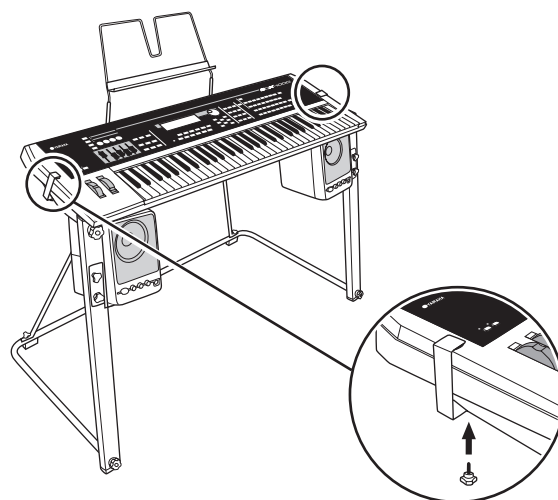


! MO6Sを落とさないようにご注意ください。

! 指をはさまないようにご注意ください。

13. MO6Sをスタンドに固定します(左右)。

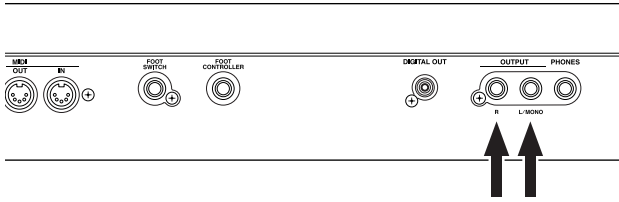
MO6S固定金具をネジ穴のない方を上にして、MO6Sの横から、上枠下面にあるネジ穴とMO6S固定金具のネジ穴にあわせて差し込み、左右両方をノブボルト(小)で仮留めしたあと、ノブボルト(小)をきつく締めて固定してください。



! 組立と分解を繰り返すとネジ山が削れたりして壊れることがあります。ノブボルトでしっかりと固定できなくなりましたら、お買い上げの販売店またはSDX4000取扱説明書に記載されているお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

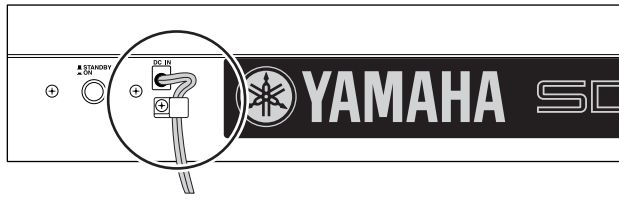
14. オーディオケーブルを接続します。

MO6SのOUTPUT Rと右側スピーカーのLINE 2 INPUTを接続してください。MO6SのOUTPUT L/MONOと左側スピーカーのLINE 2 INPUTを接続してください。



15. MO6SにACアダプターを接続します。

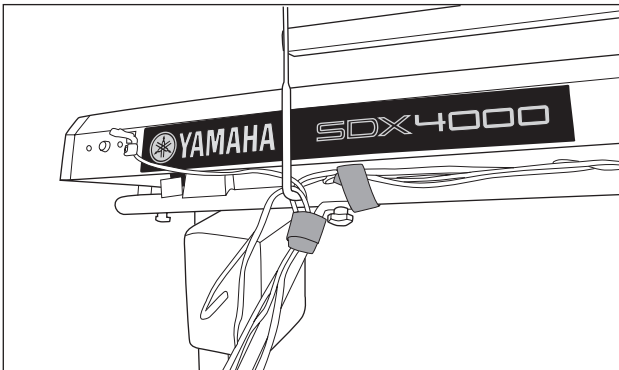
MO6Sの電源がスタンバイになっていることを確認したあと、「電源コード」(DC IN)部に付属の電源アダプターのコードを図のようにセットしてください。



NOTE コードをフックにはめてからDC IN端子に接続してください。誤ってコードを引っ掛けた場合に抜けにくくなります。

16. ケーブルをまとめます。

面ファスナーを使ってケーブルをまとめ、弛みがないようにしてください。以下の図は一例です。状況に応じて束ね方を変えてください。



NOTE 電源ケーブルはMO6SとMS101III S2台分の計3本となります。電源コンセントが3つ必要となりますので、設置場所の電源コンセントの場所に合わせてケーブルをまとめてください。

! 指や服をはさんだり、キーボードやスピーカーを落としたりしないようご注意ください。

⊘ 鍵盤に手をかけないでください。
故障の原因になることがあります。

移動する場合は、手順12から取り付けと逆の手順で行なってください。
分解する場合は、手順3から取り付けと逆の手順で行なってください。

組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- ・ 部品が余っていませんか？
→組み立て手順を再確認してください。
- ・ 部屋のドアなどが楽器にあたいませんか？
→楽器を適切な位置に移動してください。
- ・ 楽器が揺れませんか？
→すべてのノブボルトを確実に締め直してください。

使用中に楽器全体がきしむ、横揺れする、ぐらつくなどの症状が出たら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

仕様

SLG4000

サイズ(幅×奥行×高さ)	1195x630x970mm
質量	7.9kg

※ MO6SならびにMS101III Sの仕様については各取扱説明書をご参照ください。